

四半期報告書

(第47期第2四半期)

自 平成25年7月1日

至 平成25年9月30日

株式会社 エヌアイデイ

千葉県香取市玉造三丁目1番5号

(E05322)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	4
(2) 新株予約権等の状況	4
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	4
(4) ライツプランの内容	4
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	4
(6) 大株主の状況	5
(7) 議決権の状況	6

2 役員の状況

6

第4 経理の状況

7

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11

2 その他

15

第二部 提出会社の保証会社等の情報

15

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第47期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 清司
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【電話番号】	0478（52）5371
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 下山 和郎
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区晴海一丁目8番10号晴海アイランドトリトンスクエアX棟29階
【電話番号】	03（6221）6811（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 下山 和郎
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本社 （東京都中央区晴海一丁目8番10号晴海アイランドトリトンスクエアX棟29階） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第2四半期連結 累計期間	第47期 第2四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	7,411,879	7,638,008	15,531,922
経常利益（千円）	340,382	655,405	1,090,400
四半期（当期）純利益（千円）	104,227	178,768	585,889
四半期包括利益又は包括利益（千円）	120,937	164,495	835,735
純資産額（千円）	6,215,016	6,923,891	6,929,814
総資産額（千円）	11,117,904	11,633,667	11,741,699
1株当たり四半期（当期）純利益金額 （円）	27.53	47.22	154.77
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期） 純利益金額（円）	—	—	—
自己資本比率（％）	55.9	59.5	59.0
営業活動によるキャッシュ・フロー （千円）	555,776	575,197	740,049
投資活動によるキャッシュ・フロー （千円）	△599,895	△289,412	△685,035
財務活動によるキャッシュ・フロー （千円）	△172,801	△174,599	△176,167
現金及び現金同等物の 四半期末（期末）残高（千円）	5,275,697	5,482,651	5,371,465

回次	第46期 第2四半期連結 会計期間	第47期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額（円）	11.63	64.13

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策による株価の回復や円高の解消などにより企業収益も改善に向かうなど景気は緩やかに持ち直しつつあります。一方、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷などにより、海外景気の下振れが懸念され、引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループの属する情報サービス業界においては、クラウドコンピューティングやスマートフォン、タブレット端末の普及拡大により、関連する分野の市場成長が期待されております。企業のIT投資も緩やかな回復基調にありますが、市場競争は激化しており、依然として厳しい状況で推移しております。

こうした状況の中、当社グループは、通信システム事業、情報システム事業、ネットワークソリューション事業の基幹3事業を中心に、市場の変化に柔軟に対応するとともに、各事業間で有機的な連携を図りながら、顧客満足度が最大となるようなサービスの提供を目指しております。

また、ITを取り巻く環境はクラウドサービスやスマートデバイスの普及により急激に変化しております。当社グループは、基幹事業に加えて、付加価値ビジネスへも取り組み、これら進化するITに対応した新たな活用方法や価値の高いサービス等、独自のプロダクトやソリューションの創出を目指しております。この一環として、平成25年6月に日本テクト株式会社に出資し、持分法適用関連会社としております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、情報システム事業の受注が好調に推移したことや、プロジェクト管理の徹底とグループ間連携強化による業務効率化に努めたこと等により、売上高7,638百万円（対前年同四半期比3.1%増）、営業利益651百万円（同100.4%増）、経常利益655百万円（同92.5%増）となりました。

また、新規事業として取り組んだ開発案件の中止に伴う特別損失の増加等がありましたが、経常利益の増加等により、四半期純利益178百万円（同71.5%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①通信システム事業

当事業では、モバイル関連をはじめとする組込み関連の受注が減少いたしました。この結果、売上高は1,554百万円（対前年同四半期比15.1%減）、営業利益38百万円（同50.4%減）となりました。

②情報システム事業

当事業では、生損保、共済関連の主要顧客からの受注が増加いたしました。また、プロジェクト管理の徹底で利益面の改善を図りました。この結果、売上高は1,919百万円（同30.6%増）、営業利益300百万円（同247.6%増）となりました。

③ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸業や生損保等の主要顧客からの受注が安定的に推移いたしました。この結果、売上高は2,309百万円（同3.9%増）、営業利益154百万円（同32.3%増）となりました。

④NID・IS

当事業では、データ入力関連の受注が電力関連の顧客を中心に増加いたしました。また、システム開発の受注も安定的に推移いたしました。この結果、売上高は1,326百万円（同7.7%増）、営業利益110万円（同47.0%増）となりました。

⑤NID・IE

当事業では、生損保関連の主要顧客からの受注が減少いたしました。この結果、売上高は347百万円（同8.8%減）、営業利益12百万円（同64.3%減）となりました。

⑥NID東北

当事業では、電力関連の主要顧客からの受注が減少する中、営業強化を図り新規顧客獲得に努めましたが、依然厳しい状況が継続しております。この結果、売上高は180百万円（同34.6%減）、営業利益12百万円（前年同四半期は42百万円の営業損失）となりました。

(2) 財政状態の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金並びに仕掛品の増加等により、前連結会計年度末に比べ328百万円減少し8,353百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加等により、前連結会計年度末に比べ220百万円増加し3,280百万円となりました。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ108百万円減少し、11,633百万円となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、未払金及び買掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べ173百万円減少し1,986百万円となりました。固定負債は退職給付引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ71百万円増加し2,723百万円となりました。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ102百万円減少し、4,709百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、利益剰余金の増加、その他有価証券評価差額金の減少等により、前連結会計年度末に比べ5百万円減少し、6,923百万円となりました。

この結果、自己資本比率は59.5%（前連結会計年度末は59.0%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ111百万円増加し、5,482百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は575百万円（前年同四半期は555百万円の増加）となりました。これは主に、たな卸資産の増加額及び法人税等の支払額等の支出要因を、税金等調整前四半期純利益及び売上債権の減少等の収入要因が上回ったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は289百万円（前年同四半期は599百万円の減少）となりました。これは主に、日本テクト株式会社への出資及び資金運用として購入した投資有価証券の取得による支出等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は174百万円（前年同四半期は172百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払額等によるものです。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は28百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,479,320
計	17,479,320

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,369,830	4,369,830	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	4,369,830	4,369,830	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	—	4,369,830	—	653,352	—	488,675

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
小森 俊太郎	東京都中央区	6,270	14.34
株式会社エヌアイデイ	千葉県香取市玉造3-1-5	5,842	13.37
小森 孝一	千葉県香取市	5,479	12.54
エヌアイデイ従業員持株会	東京都中央区晴海1-8-10 晴海アイランド トリトンスクエアX棟29階	3,958	9.05
株式会社クリエートトニーワン	千葉県香取市佐原イ531	2,337	5.34
ゴールドマン・サックス・アン ド・カンパニーレギュラーアカウ ント(常任代理人ゴールドマン・ サックス証券株式会社)	200 WEST STREET NEW YORK, NY, USA (東 京都港区六本木6-10-1六本木ヒルズ森タワ ー)	1,612	3.68
小澤 忍	千葉県千葉市中央区	1,477	3.38
一般財団法人小森文化財団	千葉県香取市北3-2-28	1,000	2.28
鈴木 清司	東京都港区	992	2.27
馬場 常雄	千葉県船橋市	703	1.60
計	—	29,674	67.90

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	普通株式 584,200	—	単元株式数100株
完全議決権株式 (その他)	普通株式 3,783,300	37,833	同上
単元未満株式	普通株式 2,330	—	—
発行済株式総数	4,369,830	—	—
総株主の議決権	—	37,833	—

② 【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数 (株)	他人名義所有株式数 (株)	所有株式数の合計 (株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合 (%)
株式会社エヌアイデイ	千葉県香取市玉造三丁目1番5号	584,200	—	584,200	13.37
計	—	584,200	—	584,200	13.37

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新宿監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,433,380	5,543,974
受取手形及び売掛金	2,437,497	1,807,258
有価証券	1,040	1,040
仕掛品	233,669	414,575
繰延税金資産	423,920	412,851
その他	152,895	173,785
流動資産合計	8,682,404	8,353,486
固定資産		
有形固定資産		
土地	136,767	136,767
その他(純額)	278,906	283,090
有形固定資産合計	415,674	419,857
無形固定資産		
ソフトウェア	168,967	163,464
その他	44,086	18,292
無形固定資産合計	213,054	181,757
投資その他の資産		
投資有価証券	1,301,520	1,521,597
繰延税金資産	765,910	802,334
差入保証金	257,783	257,780
その他	105,625	97,129
貸倒引当金	△275	△275
投資その他の資産合計	2,430,565	2,678,566
固定資産合計	3,059,294	3,280,181
資産合計	11,741,699	11,633,667

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	368,986	317,992
未払金	378,499	262,916
未払法人税等	183,833	134,039
賞与引当金	867,411	876,899
その他	361,213	394,643
流動負債合計	2,159,944	1,986,489
固定負債		
退職給付引当金	2,146,391	2,199,513
役員退職慰労引当金	409,050	424,175
資産除去債務	36,213	36,591
その他	60,285	63,006
固定負債合計	2,651,939	2,723,286
負債合計	4,811,884	4,709,776
純資産の部		
株主資本		
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	6,818,669	6,827,085
自己株式	△1,226,363	△1,226,430
株主資本合計	6,734,333	6,742,682
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,481	181,208
その他の包括利益累計額合計	195,481	181,208
純資産合計	6,929,814	6,923,891
負債純資産合計	11,741,699	11,633,667

(2) 【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	※2 7,411,879	※2 7,638,008
売上原価	6,157,414	6,107,501
売上総利益	1,254,464	1,530,506
販売費及び一般管理費	※1 929,417	※1 878,985
営業利益	325,047	651,521
営業外収益		
受取利息	52	37
受取配当金	4,195	16,759
その他	13,711	10,493
営業外収益合計	17,959	27,290
営業外費用		
支払利息	748	671
持分法による投資損失	—	11,165
出資金運用損	—	9,980
その他	1,876	1,588
営業外費用合計	2,624	23,405
経常利益	340,382	655,405
特別利益		
投資有価証券売却益	—	26,517
差入保証金等返還益	—	38,679
特別利益合計	—	65,196
特別損失		
投資有価証券評価損	61,154	—
本社移転費用	69,883	—
契約解除損失	—	436,492
その他	30,606	17
特別損失合計	161,645	436,509
税金等調整前四半期純利益	178,736	284,092
法人税、住民税及び事業税	69,442	122,258
法人税等調整額	5,066	△16,934
法人税等合計	74,509	105,323
少数株主損益調整前四半期純利益	104,227	178,768
四半期純利益	104,227	178,768
少数株主損益調整前四半期純利益	104,227	178,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,710	△14,272
その他の包括利益合計	16,710	△14,272
四半期包括利益	120,937	164,495
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	120,937	164,495
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	178,736	284,092
減価償却費	80,521	82,489
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	27,661	53,121
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△875	15,125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,600	9,488
受取利息及び受取配当金	△4,248	△16,796
支払利息	748	671
持分法による投資損益 (△は益)	—	11,165
出資金運用損益 (△は益)	—	9,980
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△26,517
投資有価証券評価損益 (△は益)	61,154	—
売上債権の増減額 (△は増加)	328,566	630,239
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△70,282	△180,572
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△66,796	△27,279
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	60	13
仕入債務の増減額 (△は減少)	211,820	△50,993
未払金の増減額 (△は減少)	26,607	△106,720
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,982	△2,197
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	28,084	36,785
その他	28,855	556
小計	798,032	722,650
利息及び配当金の受取額	4,248	16,796
利息の支払額	△748	△671
法人税等の支払額	△245,755	△163,577
営業活動によるキャッシュ・フロー	555,776	575,197
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△269,792	△306,661
投資有価証券の売却及び償還による収入	—	74,796
有形固定資産の取得による支出	△212,444	△31,484
有形固定資産の売却による収入	506	19
資産除去債務の履行による支出	△23,610	—
無形固定資産の取得による支出	△52,623	△26,809
差入保証金の差入による支出	△120,093	△45
差入保証金の回収による収入	76,665	48
その他	1,497	725
投資活動によるキャッシュ・フロー	△599,895	△289,412
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	410,000	410,000
短期借入金の返済による支出	△410,000	△410,000
配当金の支払額	△169,090	△171,066
その他	△3,711	△3,533
財務活動によるキャッシュ・フロー	△172,801	△174,599
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△216,921	111,185
現金及び現金同等物の期首残高	5,492,618	5,371,465
現金及び現金同等物の四半期末残高	* 5,275,697	* 5,482,651

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、株式取得により日本テクト株式会社を新たに持分法適用の範囲に含めております。

(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
役員報酬	163,920 千円	172,944 千円
給料手当	259,837	235,231
賞与引当金繰入額	81,268	76,643
退職給付費用	13,116	12,225
役員退職慰労引当金繰入額	9,325	15,125

※2 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

当社グループでは、システム開発事業において、売上高の計上の基準となる検収が第2四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間に集中する傾向があるため、第1四半期連結会計期間及び第3四半期連結会計期間と比べ売上高が高くなっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	5,337,807 千円	5,543,974 千円
有価証券	1,039	1,040
預入期間が3か月を超える定期預金	△61,196	△61,200
別段預金	△1,952	△1,163
現金及び現金同等物	5,275,697	5,482,651

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	170,351千円	45円	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	170,351千円	45円	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,832,476	1,469,738	2,222,456	1,230,853	380,577	275,777	7,411,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	8,878	1,390	23,102	232,175	338,710	60,711	664,968
計	1,841,354	1,471,128	2,245,558	1,463,028	719,288	336,489	8,076,847
セグメント利益又は損失(△)	77,970	86,329	116,583	75,184	35,001	△42,563	348,507

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	348,507
セグメント間取引消去	1,951
全社費用(注)	△23,391
その他	△2,019
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	325,047

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						合計
	通信システム事業	情報システム事業	ネットワークソリューション事業	NID・IS	NID・IE	NID東北	
売上高							
外部顧客への売上高	1,554,956	1,919,226	2,309,960	1,326,179	347,239	180,446	7,638,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	33,032	4,781	14,731	204,664	314,782	123,366	695,357
計	1,587,988	1,924,008	2,324,692	1,530,843	662,021	303,812	8,333,366
セグメント利益	38,659	300,064	154,252	110,485	12,494	12,218	628,176

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	628,176
セグメント間取引消去	2,042
全社費用（注）	23,518
その他	△2,215
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	651,521

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27円53銭	47円22銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	104,227	178,768
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	104,227	178,768
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,785	3,785

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社エヌアイデイ

取締役会 御中

新宿監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 田中 信行 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 遠藤 修介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エヌアイデイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エヌアイデイ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

【表紙】

【提出書類】	確認書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の8第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【会社名】	株式会社エヌアイデイ
【英訳名】	Nippon Information Development Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鈴木 清司
【最高財務責任者の役職氏名】	該当事項はありません。
【本店の所在の場所】	千葉県香取市玉造三丁目1番5号
【縦覧に供する場所】	株式会社エヌアイデイ 本社 (東京都中央区晴海一丁目8番10号晴海アイランドトリトンスクエアX棟29階) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役鈴木清司は、当社の第47期第2四半期（自平成25年7月1日 至平成25年9月30日）の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認しました。

2 【特記事項】

特記すべき事項はありません。